

| | | | |
|-------|-------------|--------|----------|
| 講義名称 | 教育実習Ⅱ | 担当教員名 | 桜井 剛 |
| 科目群 | 幼免科目(L) | | |
| 科目区分等 | 教職(TT) 幼免必修 | 単 位 | 3 |
| 対象学年次 | 2年・春学期 | ナンバリング | CLTT2204 |

| | |
|---------------|--|
| 授業のキーワード | 幼稚園本実習 責任実習 |
| 授業の概要 | 教育実習Ⅰの学び経験を基に、教育実習Ⅱは「まとめ」となります。保育者としての適性、社会性・幼児の理解・指導力を総合的に判断されます。教育実習Ⅰをふりかえり、改善点を確認しましょう。 |
| 期待される学習成果(目標) | 社会人としてのマナーを自ら顧みて、組織の一員としての自覚・責任のある態度をもって実習に臨むことができます。幼児の理解を深め様々な場面で適切な対応ができるよう事前の学習に励み理解を深められます。 |

| 授業展開 | | |
|------|-------------------------|--|
| 回 | テーマ | 内 容 |
| 1 | オリエンテーション 教育実習Ⅰふりかえり | 前年度の教育実習Ⅰを振り返り、反省と改善点を探り、自分の課題を認識します。 |
| 2 | 実習に向けての準備 一心構え | 実習生としてマナー・態度に留意し責任感を持ち取り組みます。 |
| 3 | 子どもの姿と遊び | 実習期間(6月)の幼児の姿を想定し、発達の理解や接し方のポイントを考えます。 |
| 4 | 指導案(日案)作成にあたって | 指導案の作成に関する留意事項を学びます。 |
| 5 | 指導案(日案)の作成にあたって | 実習期間(6月)を想定した指導案の作成をします。6月の幼児の姿を年齢別に理解します。 |
| 6 | 指導案(日案)の作成にあたって | 責任実習と指導計画について主活動、部分実習の内容を考え準備します。 |
| 7 | 実習 | 実習をします。 |
| 8 | 実習 | 実習をします。 |
| 9 | 実習 | 実習をします。 |
| 10 | 実習事後指導 | 実習ノート提出(園、短大) |
| 11 | 実習事後指導 | 報告会をします。 |
| 12 | 実習事後指導 | 報告会をします。 |
| 13 | 実習事後指導 | 実習園より届いた評価表を基に個人面談を行います。 |
| 14 | 実習事後指導 | 第13回に準じます。 |
| 15 | 実習事後指導 | 第13回に準じます。 |

| | |
|---------------------|--|
| 定 期 試 験 | 基本的に行いません。実習先の評価により再実習となる場合もあります。 |
| 評 価 方 法 | 実習園からの評価、実習ノート、事前の準備(レポート、教材研究)、日常の基本姿勢(授業中の態度・姿勢)等で総合的に判断します。 |
| 使用する教科書(必ず購入してください) | 「幼稚園・保育所・福祉施設実習ガイドブック」 田中まさ子編 (株)みらい、 「幼稚園・保育所実習日誌の書き方」 相馬和子・中田カヨコ編 (株)萌文書林 |
| 参 考 文 献 | 授業中に参考文献を紹介します。 |